

特定非営利活動法人フォレストサイクル元樹 令和元年度臨時総会議事録

1. 日 時 令和2年3月8日(日) 11時～12時30分
2. 場 所 間伐材工房 元樹
3. 出席者数 9名(内委任状3名) 会員の1/2以上となり成立した。
4. 配布資料

- ① 令和元年度臨時総会次第
- ② 「いすゞエルフ平ボディ 1.55 t」の新車購入見積書

5. 審議事項

事案第1号 「小型トラック(エルフ)の新車導入に伴う購入資金借入れ」について(承認)

- ・日本政策金融公庫仙台支店から林業設備資金として3,080,000円の借入れ
- ・日本政策金融公庫一関支店から事業資金として1,000,000円の借入れ

6. 議事経過の概要及び議決の結果

開会の言葉 理事 星野政博

挨拶 理事長 蛇口昌俊

令和元年度の臨時総会となります。本日は、緊急に皆様の議決を要する事案が発生した為年度末のお忙しい最中ではありますが、臨時総会を開催することとなりました。

当法人は、任意団体として立上げてから今年1月で丸10年が過ぎ、本年4月16日には法人として11年目に入ります。ホダ木生産を柱として事業をスタートした岩泉町での活動も丸3年が経過し順調に推移しています。間伐材工房元樹の運営も、広葉樹を原材料として新たな展開になっています。昨今の感染症には、スタッフ共々最大限の注意を払いつつ日々の活動に邁進している今日この頃です。

本日の総会では、岩泉町でのホダ木生産を柱とする森林整備事業や、薪ストーブ設置工事や薪ストーブユーザーへの薪の配達、新緑祭・キリストこども市等への出展他、法人活動に不可欠な「小型トラック(エルフ)の新車導入に伴う購入資金借入れ」の事案につき承認いただきたく、急遽臨時総会を開催することにいたしました。

議長選出

定款に沿って、理事長である蛇口昌俊が議長を努める事を宣し、議長は理事会成立の要件を満たしていることを出席者に説明し会議成立を宣言した。

議事録署名人の選出

議長より、本日の議事の経過を議事録にまとめるに当たり、議事録署名人2名を選任したい旨を諮った結果、阿部誠と辻博之の2名が満場一致で選任された。

書記の選出は、星野政博が選出された。

審 議

事案第1号 「小型トラック(エルフ)の新車導入に伴う購入資金借入れ」について(承認)

- ・日本政策金融公庫仙台支店から林業設備資金として3,080,000円の借入れ
- ・日本政策金融公庫一関支店から事業資金として1,000,000円の借入れ

議長より、配布資料②に基づき、購入費用の内訳についての説明及び、活動における小型トラックの必要性と、新車車両導入に至る経緯の説明がなされ、「小型トラック(エルフ)の新車導入に伴う購入資金借入れ」の件は、満場一致で承認された。

- ① 新車購入の是非、必要性について議論がなされた。
 - ・3年前に、岩泉での森林整備事業をスタートするにあたり、山主が使用していた平成9年型の中古トラックを遺族から安く譲り受け活動に使用していたが、使用初年度から故障等修理箇所が多発し、3年間で車検費用等除き200万近い経費が発生。昨年暮れにも同様に不良が見つかり見積額が100万円を超える内容であった。同じ轍を踏まず長く使うためにも、先進安全装置搭載の新車導入に至った旨説明、全員の理解が得られた。
- ② 5年に及ぶ新たな固定費としての借入金返済の見通し及び、その為の収益確保についての質疑応答がなされた。
 - ・本年1月より、単発ではなく毎月一定量の工房受注製作品の契約が決定、政策金融公庫借入れの設備資金・事業資金の合計返済額を上回る収益増が見込め、それを毎月の返済に充当する旨説明し全員の理解が得られた。
- ③ ホダ木生産を柱とした岩泉での森林整備活動、間伐材工房元樹運営、薪・薪ストーブ普及活動、木育活動等多岐にわたる事業運営につき夫々の中長期の事業の活動構想について質疑応答がなされた。

法人として金融機関からの初めての借入金、その額も大きく返済を不安視する声も上がったが、別の見方をすれば法人としての10年間の活動が金融機関にも認められた証でもあるとの声も上がり、理事長として今まで以上の精進と気概を表明し閉会を宣言。

閉会のことば 星野理事

来月からの令和2年度の事業活動についても、会員皆様のご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和2年3月10日

議長
議事録署名人
議事録署名人

星野 俊
星野 博之
阿部 誠

